

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第2区分

【発行日】平成26年7月24日(2014.7.24)

【公開番号】特開2013-190744(P2013-190744A)

【公開日】平成25年9月26日(2013.9.26)

【年通号数】公開・登録公報2013-052

【出願番号】特願2012-58519(P2012-58519)

【国際特許分類】

G 02 B 5/30 (2006.01)

G 03 B 21/14 (2006.01)

G 03 B 21/00 (2006.01)

G 02 F 1/1335 (2006.01)

【F I】

G 02 B 5/30

G 03 B 21/14 Z

G 03 B 21/00 E

G 02 F 1/1335 5 1 0

【手続補正書】

【提出日】平成26年6月6日(2014.6.6)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0061

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0061】

液晶プロジェクタに代表される光学装置への応用を考える場合、青色（概略波長範囲430 nm～500 nm）には、図13(a)に示すワイヤグリッド構造WGの高さが120 nmの反射型偏光素子が適していることがわかる。また、緑色（概略波長範囲500 nm～600 nm）には、ワイヤグリッド構造WGの高さが120 nm（図13(a)）と150 nm（図13(b)）の間の反射型偏光素子が適している。さらに、赤色（概略波長範囲600 nm～680 nm）には、図13(b)に示すワイヤグリッド構造WGの高さが150 nmの反射型偏光素子が適していることがわかる。さらに、CDプレーヤなどに使用される波長780 nm～830 nmの近赤外線レーザ光用としては、図13(c)に示すワイヤグリッド構造WGの高さが180 nmの反射型偏光素子が適していることがわかる。